

EG-Keeper EG-Plus2 定期ログ保存ツール ユーザーマニュアル



編集履歴

編集日付		編集内容	版数
2023年1月27日	初版		1.0





編集履歴	
目次	2
1. 概要	
1.1. 処理イメージ	
2. データ定期取得ツールの実行	4
2.1. エクスプローラーから実行する方法	4
2.2. コマンドプロントから実行する方法	
2.3. メッセージ表示欄の説明	6
3. 保存データの説明	7
3.1 EG-Keeperの保存データ	
3.2. EG-Plus2の保存データ	
3.3. 保存データの連続性	



1. 概要

本書では、EG-Keeper及びEG-Plus2から定期的にログデータを取得し、PCに保存するソフトウェアについて説明します。

本ソフトウェアは、Windows PC (パソコン)上でのみ実行できます。

また、PCとEG-Keeper及びEG-Plus2とのネットワーク接続ついては、別途、それぞれのマニュアルをご覧ください。

バージョン	プログラム名				
1.0	eg-logtool_ver1.0.exe				

1.1.処理イメージ





2. データ定期取得ツールの実行

データ定期取得ツールは、Windows PCのみで実行できるソフトウェアです。 実行ファイル名: **eg_logtool_ver1.0.exe**

実行方法には、2通りあり、

- 1) エクスプローラーから直接実行する。
- 2) コマンドプロンプトから引数を付けて実行する。
- の、どちらかで実行します。

2.1. エクスプローラーから実行する方法

- 手順1 eg_logtool_ver1.exeを任意のフォルダーにコピーする。
- 手順2 eg_logtool_ver1.exeをダブルクリックし直接実行する。
- 手順3 以下のEG-Plus2 ログ保存ツールのウインドウが起動する。

	 EG-Plus2 ロク保存ツール[ルーフ] 設定 ヘルプ 	- ×	
メッセージ表示欄		- L X 192.168.1.50:8000 参照	< ログ取得間隔> ボタンのマウスにてドラッグしてス ライドさせることで、時間を変更す る。 ボタンの上の数字が、時間(分)を 示す。(初期値:1分)
	 □ アルコール検出結果のみ取得す3 設定項目を入力してください CSV出力開始 	CSV出力終了	示すこの工の数子が、時間(方)を 示す。(初期値:1分)

手順4 各項目を設定する。

・ EG-KeeperまたはEG-Plus2のIPアドレスとポート番号
 EG-Keeperのポート番号は、8080固定
 EG-Plus2のポート番号は、8000固定
 ・出力先のフォルダー名(参照ボタンでエクスプローラーを起動し、フォルダーを選択)

- ・ログ取得間隔(初期値:1分、分単位で60分まで選択可能)
- ・並び順(ログのtimestampの時刻順)
 - 降順:ファイルの先頭が、一番時刻が新しい
 - 昇順:ファイルの先頭が、一番時刻が古い
- ・アルコール検出結果のみを取得(すべて取得時は、チェックを入れない)
 - 注. EG-Plus2のみ有効であり、EG-Keeperの時はチェックを入れない事。
- 手順5 すべての項目が設定されるとCSV出力開始ボタンが有効となります。
- 手順6 任意のタイミングでCSV出力開始ボタンがクリックして、開始してください。 CSV出力終了ボタンが有効となり、終了ボタンをクリックするまで、CSV保存を繰り返 します。
 - 注. 各項目設定は保存されませんので、不便を感じられる時は、次章のコマンドプロンプトから 実行する方法をご利用ください。



2.2. コマンドプロンプトから引数を付けて実行する方法

- 手順1 例として、C:¥csvのフォルダーを作成し、eg-logtool_ver1.0.exeをコピーする。 注.フォルダーは、Cドライブ直下で、アルファベット小文字で作成すること。
- 手順2 コマンドプロンプトを起動します。
- 手順3 コマンドプロンプトのフォルダー位置をC:¥csvに移動します。
- 手順4 コマンドラインに、例として以下の実行ファイルと引数を入力し、Enterを押下します。
 引数間は、スペース1個を挿入してください。
 C:¥csv>egkeeper_log_ver5.exe command 192.168.1.50:8000 c:/csv/ 3 desc all
 - <引数例:説明 注. Command入力した時、それ以降の引数は必須で、省かないこと>
 - (1) {command} コマンドライン実行
 - (2) {192.168.1.50:8000}
 EG-Plus2 IPアドレス:ポート番号
 EG-Keeperのポート番号は、8080固定

EG-Plus2のポート番号は、8000固定

- (3) {c:/csv/} ログ保存場所
- (4) {3} 取得間隔(min)例:3分
- (5) {desc} 並び順(desc=降順, asc=昇順)
- (6) {all} 保存対象 (all=すべてのデータ,

alcohol=アルコール値が入っているデータだけ)

- 注. 引数をすべて無しで実行すると、エクスプローラーから直接実行する場合と同じ動作になります。
- 手順5 以下のEG-Plus2 ログ保存ツールが実行状態でウインドウが起動します。 手順4 で指定した引数が、適応された状態で、実行されています。

€ EG-Plus2 ログ保存	ツール[ループ]	-		×
設定 ヘルプ				
EG-Plus2 IPアドレス	192.168.1.50:8080	※例: 192.168	1.50:8000	
出力先フォルタ	c:/csv/	参照		
	3			
ロク取得間隙[min]				
₩751百				
<u></u>	partic .			
	▽ ▽ □− 検史法用の支配得する			
	○ 101-00900000000000000000000000000000000			
	コマンドラインから実行開始			
	CSV出力開始	CSV出力	1終了	

手順6 CSV出力終了ボタンをクリックするまで、CSV保存を繰り返します。

CSV出力終了すると、各項目は編集可能となりますが、変更内容は保存できません。



2.3. メッセージ表示欄の説明

下図の赤枠内は、動作状況を示すメッセージを表示します。

	€ EG-Plus2 ログ保存ツール(ループ) - ×
	EG-Plus2 IPアドレス 192, 168, 1,50:8080 米例: 192, 168, 1,50:8000 出力充力ポルダ [cr/csv/] 参照
	ログ取得間隔[min] 3
メッセージ表示欄	並び順 □241度 ✓
	☑ アルコール検出結果のみ取得する
	コマンドラインから実行開始
	CSV出力開始 CSV出力終了

状況に応じて、以下のメッセージが表示されます。

<起動時>

- 引数無で実行時-> "設定項目を入力してください" 引数有で実行時-> "コマンドラインから実行開始"
- <**ネットワーク接続エラー時**>(IPアドレス:192.168.1.50:8000設定時)
 - "192.168.1.50:8000指定IPにはネットワークエラー(timeout)が発生しました"
- <ログ出力有の時>(60分間隔設定時の例) "2023-01-24 17:57:41~2023-01-24 18:57:41のログを保存しました"

<**ログ出力無の時**>(60分間隔設定時の例) "2023-01-24 17:57:41~ 2023-01-24 18:57:41のログが無かったため、保存していません"



3. 保存データの説明

取得データは、CSV形式で保存されますが、EG-KeeperとEG-Plus2とでは、保存される項目が異なります。

3.1. EG-Keeperの保存データ

下図は、例として、5分間隔に設定された場合の1回分のサンプルデータを示します。 並び順は、昇順設定です。

	Α	В	С	D	E	F	G	н	1	J	K	L	M	N	0	P	Q	R	S	Т	U	V
1		address	age	birth	bodyTemp	certificate	certificate	country	deviceid	email	gender	groupId	id	name	nation	personId	phone	respirator	simulatiry	symbolDa	timestamp	userid
2	C) 荒川区西日	33		36.48	1234567A	111		5005617	miyoshi@	()	89	1ミヨシー		WDS05	3.68E+08	0	0.954845		2023/1/25 16:21	WDS05
3	1	荒川区西E	51		36.7		111		5005617		1	L	89	2 KOURAKI	J	WDS20	3.68E+08	0	0.876043		2023/1/25 16:23	WDS20
4																						
-																						

各項目の説明は、以下の通りです。各データは、 シフトJISコード で保存されます。
列A:項目名無 CSVファイル内の連番 CSVファイル内の連番
列B:address 住所
列C:age 年齢
列D:birth データ無
列E:bodyTemperature 検温結果
列F: certificateNumber 証明書番号
列G:certificateType 証明書の種類(111:身分証 固定)
列H : country データ無
列I: deviceid デバイスシリアル番号
列J:email メールアドレス
列K:gender 性別
列L : groupId データ無
列M: id 取得したデータ毎に振られる固有の連番。分割したCSVファイル内のデータを
連結する際の基準として使用する
列N:name 名前
列O:nation データ無
列P : personId ユーザーID
列Q:phone 電話
列R:respirator マスク
列S:simulatiry 類似度
列T:symbolData データ無
列U:timestamp 取得日付
列V:userid ユーザーID(personIdと同じ値)
ククファイルタけ 例としていてとかります
$\frac{192}{192} \frac{168}{168} \frac{1}{100} \frac{9080}{20230125} \frac{20230125}{162526} \frac{162526}{csvoutput csv}$
▶ IPアドレス・ホート番号 ▲ 年月日時刻



3.2. EG-Plus2の保存データ

下図は、例として、60分間隔に設定された場合の1回分のサンプルデータを示します。 並び順は、降順設定です。

	А	В	С	D	E	F	G	Н	I
1		id	name	body_temp	body_alc	custom_key	userid	deviceid	timestamp
2	0	978	ミヨシケンジ	36.7	0	乗車後	10	WDS12345	2023/1/24 18:03
3	1	977	ミヨシケンジ	36.7	0.02	乗車前	10	WDS12345	2023/1/24 17:30
4	2	976	KOURAKU	36.5	9999	退社	11	WDS12345	2023/1/24 17:20
5	3	975	山田太郎	36.2	9999	外出	3	WDS12345	2023/1/24 17:15
6	4	974	ミヨシケンジ	36.6	9999	出勤	10	WDS12345	2023/1/24 17:13
7	5	973	KOURAKU	36.4	9999	出勤	11	WDS12345	2023/1/24 17:05

各項目の説明は、以下の通りです。各データは、シフトJISコードで保存されます。

列A:項目名無 CSVファイル内の連番

- 列B: id 取得したデータ毎に振られる固有の連番。分割したCSVファイル内のデータを 連結する際の基準として使用する
- 列C: name EG-Keeperに顔登録された氏名(未登録者は、空白)

列D: body_temp 測定した検温値(℃)

- 列E:body_alc 測定したアルコール値 (mg/L、測定しない時は、9999が入る)
- 列F: custum_key 押下されカスタムボタンの機能名(カスタムボタン無の時は、"ー"が入る)
- 列G: userid EG-Keeperに顔写真と合わせて登録されたユーザーID
- 列H: deviceid EG-Plus2に登録したデバイスID
- 列I: timestamp 検温、アルコールチェックを実施した時間(EG-Keeperの時刻)

保存ファイル名は、例として以下となります。

192	168	1	50	8000	20230124	181026	_csvoutput.csv
×	IP	ア	ドレ	ス:ポ	ート番号	×	年月日時刻

3.3. 保存データの連続性

例えば、60分間隔(最大値)に保存する設定になっていれば、60分毎に別々のCSVファイルが作成 されます。

データの連続性は、保存ファイル名の年月日時刻と各データに付けられているid(列B)の値の順で 判断します。測定データが重複することはありません。

さらに、60分の間に測定が無い(ログデータが無い)場合は、CSVファイルは作成されません。